

おくのひかる  
**奥野 ひかる**

**仮設の歌姫～元気配達人**



**【ジャンル】**

人権/福祉/ボランティア/音楽

**【 演題 】**

「生きる意味」

「生きる希望とは？」

「仮設住宅に住んで実感した苦楽」

「ボランティアを継続する意味」

- 大阪府無形民俗文化財  
「淀川三十石船船歌」歌唱継承者
- 地域活性化プロデューサー
- 岩手県北上市更木桑茶PR大使
- 岩手県胆沢郡金ヶ崎町  
アスパラガスPR大使
- 第一次産業応援歌手
- 京野菜PR歌手

**【 プロフィール 】**

大阪府出身。

幼少より「 のど自慢日本一 」などのタイトルを多数獲得し、プロデビュー。

大阪府無形民俗文化財「 淀川三十石船船歌 」歌唱継承者。

地域活性化プロデューサーとして食育ソングや地産地消ソングも多数制作する。

東日本大震災以降、2011年夏から毎月のように被災地に通い、無料で行う仮設住宅ライブは「 心が元気になる 」とロコミで広まり、700回を超えて現在も継続中。

いつしか「 仮設の歌姫 」との愛称がつけられ、軽妙なトークと歌で泣き笑いが交錯する、観客の感情を爆発させるライブは「 ひかるワールド 」と呼ばれている。

2015年春から市の許可を得て、仮設が閉鎖になる2016年夏までの1年4か月の間、仮設住宅に住み込み、無料の仮設ライブを展開した。

これも被災者に請われてのことだった。

「 仮設の歌姫 」も復興の槌音に合わせて「 復興の歌姫 」と呼ばれ始めている。

奥野ひかるは「 心を歌う 」歌手である。